



# 診療技術部だより



令和4年10月

臨床検査科 Vol.16

## 生化学検査、どうして遅いの？

患者さんからも臨床からもよく聞かれる「採血結果が出るまで何分くらいですか？」という質問。結果が出るまでの時間は検査項目によって様々ですが、生化学部門の検査結果は特に時間がかかります。外来患者さんの結果報告は、採血してから約1時間を目標に検査を行っています。様々な要因でさらに時間を要する場合があります。そこで今回は、採血から結果報告までどんな行程で検査されているのかをご紹介します。

### ①受付から採血まで 2分～60分

2Fの採血室は、病院が開く8時に合わせて窓口を開きます。当日の化学療法を行う方、造影CTやMRIが予定している方などを優先に順次採血していきます。  
外来採血は、午前8～10時がピークで、1日の半分以上（150人程度）がきます。曜日によっては、受付から採血開始まで1時間以上お待ちいただくこともあります。



### ②採血 5分～10分

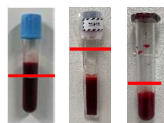
外来での採血は、臨床検査技師が担当しています。採血台は計6台で運用しています。  
採血困難な場合、腕を温めたり2人がかりで対応したり・・・10分以上かかることも・・・



### ③検体確認 5分

ひとつひとつの検体が適切な状態であるか、目視で確認しています。病棟や救急外来で採血された検体も、ここで合わせて確認します

- 検体量について



水色・黒・B-11などは線ピッタリでなければいけません

- 搬送方法について



アンモニアは分析直前まで水冷する必要があります



クリオグロブリンは血液が凝固するまで37℃加温する必要があります

- ラベル貼り付け方の良い例・困った例



OK!



上すぎ、下すぎ、ナナメ、重なり・・・など読み取れません

### ④遠心分離 10分～20分

遠心分離が必要な検査（採血管のキャップの色）

- 生化学・腫瘍マーカー・ホルモン（茶）
- 感染症（緑）
- 血糖、HbA1c（灰）
- 凝固（水色）
- BNP、PIVKA II など（赤紫）

採血管を10分程度静置し血液が完全に固まってから遠心分離します

遠心後の血清に溶血等を認める場合正しい結果が出せないため再採血となります



採血後は静かに且つすみやかに転倒混和をお願いします。

### ⑤搬送 5分

搬送システムに、優先度の高い順番で架設します。

搬送システムに架設する前に・・・

- ラベルが正しい位置に貼られているか？
- きちんと遠心分離できているか？

を目視でひとつひとつ手作業で確認しています。



もし見落としてしまうと・・・

分析装置の故障！

搬送システム停止！



様々なトラブルのもとに・・・

### ⑥検体測定 5分～30分

各分析装置で、検体を測定します。分析装置によって測定時間が異なります。主な検査分析時間（再検は含まず）

- 生化学項目 ..... 約13分
- 腫瘍マーカー・ホルモン・感染症項目 ..... 約30分
- BNP ..... 約30分
- 血糖・HbA1c ..... 約5分

### ⑦結果確認 3分

生化学部門の結果は、担当の臨床検査技師が1人で結果の確認を行います。検査結果が問題なければ結果を承認し、再検が必要な場合は搬送システムに再検指示を行ないます。結果の確認・承認の他に、追加採血や結果の問い合わせなどの電話対応も行うマルチタスクの業務です。

ああっ電話が鳴ってる！

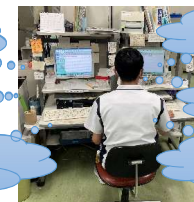
検体不良？

前回値との比較は？

基準値内か？

パニック値の電話しなきゃ！

再検は必要？



### ⑧検査終了 TOTAL 35分～133分

検査結果に問題ないことが確認できたら、検査終了です。検査終了後の検体は、追加検査などに対応できるよう一定期間保管されます

### まとめ

私たちが迅速・正確な検査を行うためには、当科だけでなく採血やその搬送に関わる全てのスタッフの協力が不可欠です。採血検体の取り扱い等で困ったことなどありましたら、遠慮せずにお問い合わせください。☺  
問い合わせ 生化学検査 内2272